

日本ロシア文学会会報 第49号 2020年2月

1. 会長挨拶 2. 2019年度第69回総会報告 3. 10月・12月理事会関連事項 4. 会員異動 5. 新役員・委員 6. その他 7. 事務局からのアナウンス

1. 会長挨拶

会員みなさま

2019年10月の早稲田大学で開催された総会にて、2019-2021年度の理事、各種委員会メンバーが承認され、あたらしい顔ぶれでの学会運営が始まりました。副会長は引き続き、中村唯史さんと貝澤哉さんに、事務局は野中進さん（2020年大会まで）と安達大輔さんにお越し、これから2年間みなさまと一緒に学会をよりよくしていけるよう、努めていきたいと思っております。

2019年は名簿作成の年に当たり、最新の会員名簿を作成してみなさまにお届けしましたが、その直後に、掲載不可とした情報が掲載されている、あるいは掲載すべき連絡先が載っていない、といった問題がいくつか指摘されました。これについてはすでに、会員各位に掲載情報をご確認いただき、これを反映させた訂正版を作成してお送りしたところです。その前の、誤情報の掲載された名簿は勝美印刷にご返送いただけたと思いますが、まだの方がいらっしゃいましたら、返信用の封筒をお使いの上、すみやかにご返却をお願いいたします。

このことが起きたから、というわけではありませんが、多くの学会や組織で紙媒体の名簿の配布をやめる傾向にある中、本学会でも、今後、紙媒体の名簿の配布を続けるかどうかを議論するときに来ているといえるでしょう。紙媒体名簿のメリットとデメリットを検討し、紙媒体名簿の配布をやめる場合には、これに代わる補完措置、具体的には、どういった形で名簿を配布するかという問題を考えながら、今後の方針について現理事会の中で検討してまいりたいと思っております。みなさまもご意見をお近くの理事、あるいは事務局までお知らせいただければ幸いです。

現理事会のもう一つの検討課題は、会員の拡大、とくに修士の学生に門戸を開けないかということです。本会には、修士課程在籍の方の入会や大会参加を認めない規定はありませんが、これまでは博士課程になってから学会に参加するというのがほぼ慣例になっていたと思います。しかし日本学術振興会DC、PDや各種奨学金の資格獲得のために早くから業績の有無が問われる昨今、将来の研究活動を担うであろう修士の学生さんの業績作りに学会として積極的に関わっていく必要があります。学生会員の制度作りが可能かどうか、予想する問題点などを考慮しながら議論していきたいと思っております。こちらもご意見をお持ちのかたはぜひお寄せください。

2020年の総会・全国大会は、第70回を迎える会となります。これまでの先人、先輩方のご尽力に敬意を払いつつ、さらに学会活動を前進させるために、活気ある大会にできればと思います。みなさま奮ってご参加ください。

最後に、毎年お願いですが、学会の運営は会員の会費によって行われています。まだ2019/2020年度の会費を未納入の方は、忘れずにお支払いをお願いいたします。維持会費も、主に若手支援のために支出される特別会計の財源です。こちらへのご協力もどうぞご配慮ください。

令和2年2月 三谷恵子

2. 2019年度第69回総会報告

第69回定例総会・研究発表会は、2019年10月26日（土）、27日（日）の両日、早稲田大学で開催されました。10月26日（土）午後開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

1. 開会の辞 会長：三谷恵子（敬称略、以下同様）

三谷会長が開会の辞を述べた。

2. 学会賞表彰 【論文部門】北井聡子

青山忠申

井上幸義学会賞選考委員長が選考結果の報告を行い、三谷会長から北井聡子・青山忠申両氏に表彰状と副賞が手渡された。

3. 議長団選出 【候補】 恩田義徳（関東）・北井聡子（関西）・宮川絹代（北海道）

該当支部からの推薦に基づいて三名の議長候補が示され、全会一致で承認された。

4. 事務局報告

・庶務会計野中進から、資料に基づいて会員異動（2018年11月～2019年10月）について以下のように報告が行われた。

・ご逝去1名 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

相馬守胤様

・入会者 正会員9名

有田耕平（関西）、井伊裕子（関東）、上村正之（北海道）、柿添琳子（関東）、梶彩子（関東）、福井祐生（関東）、プロホロワ・マリア（関東）、ボリソワ・アンナ（関西）、松原繁生（関西）

・退会者 正会員7名、賛助会員1社

伊藤美和子、内田健介、近藤昌夫、大学書林、トマルキン・ピョートル、夏目智徳、松原広志、宮崎武俊

・庶務会計野中進から、資料に基づいて財政レポートが行われた。

・庶務会計野中進から、10月末に会員名簿が送付されること、および今後も会員名簿の発行を続けるかどうかについては、理事会・総会などで議論を続けることが報告された。

5. 各種委員会報告

・三谷恵子会長から、資料に基づいて、2020大会実行委員会に横井幸子委員を加えた2019/2020年度役員・委員一覧が報告された。これが全会一致で承認された。

・広報委員会古賀義顕委員長から、学会メーリングリスト(robun@vaar.sakura.ne.jp)に最新のメールアドレスを登録してもらうよう呼びかけがあった。

6. 他の学会活動報告

・「ロシア文学大事典」について

「ロシア文学大事典」編纂ワーキンググループ中村唯史座長から、ロシア文学会編「ロシア文学大事典」（勉強出版）の執筆依頼が10月末か11月初めに行われることについてアナウンスがあった。

・若手ワークショップの再開について

三谷恵子会長から、若手ワークショップを再開することが報告された。

・ICCEES モントリオール大会について

三谷恵子会長から、ICCEES モントリオール大会の報告応募締切が12月末に再延長されたこと、また若手向けの旅費補助等についてHPで告知されていることが報告された。

7. 2018/2019年度決算および会計監査報告

事務局（庶務会計）野中進から、別紙資料に基づいて前年度決算報告が行われ、木村崇監事より会計監査報告が行われた。これが全会一致で承認された。

8. 2019/2020 年度予算案

事務局（庶務会計）野中進から、別紙配布資料に基づいて新年度の予算案が示され、全会一致で承認された。

9. 編集委員の選出法の変更と、学会誌規定4の改訂（案）

三谷恵子会長から、資料に基づいて編集委員の選出法の変更と、学会誌規定4の改訂について諮られ、全会一致で承認された。

10. ロシア語教育委員会改組について（案）

三谷恵子会長から、資料に基づいてロシア語教育委員会改組について諮られ、全会一致で承認された。

11. 2020 年度大会について

三谷恵子会長から、2020 年度大会開催校として大阪大学が提案され、全会一致で承認された。

12. 九州北部豪雨、台風15号、19号で被災された会員の方に対する会費免除について（案）

三谷恵子会長から、資料に基づいて九州北部豪雨、台風15号、19号で被災された会員に対し、2019/2020年度の会費を免除することについて諮られ、全会一致で承認された。

13. その他

今回大会プログラムの学会HP掲載が遅かったのではないかとという質問が寄せられた。これに対して組織委員会中村唯史委員長・事務局（庶務会計）野中進から、大会プログラムの学会HP掲載時期は例年通りであったが、掲載時期については組織委員会で改めて検討するという回答があった。

14. 議長団解任・閉会の辞

議員団が解任され、中村唯史副会長が閉会の辞を述べ、閉会となった。

3. 10・12月理事会関連事項

10月理事会は10月26日（土）に早稲田大学にて、12月理事会は12月21日（土）に東京大学本郷キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

10月理事会（前節の総会報告を参照）

12月理事会

（以下敬称略）

○7月理事会議事録の確認

○前回（10月）理事会議事録の確認

○2019年度総会（10月）議事録の確認

報告事項

1. 事務局報告

○書記安達大輔から、一人支部理事欠席の場合の代理について原則の確認があった。各支部は少なくとも一人は理事会に出席者を出すこととし、理事一名の支部において理事本人が欠席の場合は代理を立てる（ただし当該支部から各種委員長等が出席する場合は他に代理を立てる必要はない）ことが確認された。

○庶務会計野中進から、会員異動（2019年10月～2019年12月）について、資料に基づいて以下の報告が行われた。

・ご逝去1名

加藤栄一様

・入会者

なし

・退会者

イワノワ（イブラギモワ）・エレナ、大谷幸太郎、尾子洋一郎、垣内智夫、狩野亨、キリーロワ・エレナ、工藤正廣、小出雅樹、佐伯郁智、佐々木精治、田辺佐保子、堀江新二

○庶務会計野中進から、財政レポートが行われ、資料に基づいて以下の報告が行われた。

・2019年10月総会以降790,797円の会費納入があった。

・従来振替による送金の通知は送金があった日ごとに郵送されていたが（無料）、来年からこのサービスが有料化することになったため、ウェブによる連絡（無料）に切り替える。

○庶務会計野中進から、名簿問題について、資料に基づいて以下の経緯及び対応の報告があった。

・本年10月に印刷・発送した会員名簿について「掲載希望の情報が掲載されていない」「掲載不可とした情報が掲載されている」という苦情が複数の会員から寄せられ、11月13日付けで学会MLを通じて同様のケースの連絡をお願いしたところ、11月末までに12件の連絡があった。中には完全に勝美印刷側の不注意によるものも数件あった。

・勝美印刷に抗議と協議の結果、「訂正版」の作成・送付を勝美印刷側の負担で行うこととなった。旧版を回収するための返信封筒も同封する。送付に際してはナンバリングをして、返送されない会員への催促も勝美が行う。

・今回の事態については事務局（庶務会計担当）の責任であり、深くお詫びする。今後の紙版の名簿作成については、各支部で検討の後2020年7月の理事会で協議する。

○庶務会計野中進から、各種委員会開催時に出張旅費が必要な委員については、庶務会計まで連絡するよう委員長から当該委員にアナウンスすることについて確認があった。

2. 役員・理事・各種委員

3. 各種委員会報告

○学会賞選考委員会ヨコタ村上孝之委員長から、2019年度学会賞候補推薦依頼（学会HP掲載）の開始と締切について報告された。

○編集委員会相沢直樹委員長から、別紙資料に基づいて以下の報告が行われた。

・会誌52号の編集作業について報告された。

・会誌に関する規定をめぐる諸問題とその対応について報告された。特に「国際枠」の投稿論文の書式の指示について、国際交流委員会と協働して次回大会までに修正を行うことが定められた。

・会誌PDFのweb公開について、51号に関しては以下の案で対応し、それ以降の号に関しては7月理事会で検討することが定められた。

J-STAGEでの公開は、会誌刊行後2か月くらいをメドとする（年内のアップを目指す）。

学会HP上での（会誌全体の）公開は、会誌刊行後半年くらいをメドとする（年度初めの公開を目指す）。

○国際交流委員会楯岡求美委員長から、資料に基づいて2019/2020年度国際交流助成について報告が行われた。

○広報委員会本田晃子委員長から、以下の報告が行われた。

- ・学会 HP のプラットフォーム移行の実験について、今年度中に移行、半年間の試行を経て、結果によっては外注（但し情報更新は広報委員会）を検討することが報告された。
- ・学会 HP の情報掲載依頼フォームの不具合について報告された。
- ・学会 HP のロシア語とのバイリンガル化（ロシア語スタッフの増員）計画について、謝金の支払いを含めて次回理事会で検討することが定められた。
- ・学会 HP の運営謝金について、年額 3 万円を支払うことが定められた。
- ・各種委員会・支部の ML の動作確認のお願いが、2019 年 11 月 10 日付で連絡されたことが報告された。
- ・学会 ML (robun@yaar.sakura.ne.jp) の登録メールアドレス確認のお願いが行われた。

○日本ロシア文学会大賞選考委員会服部文昭委員長から、第 7 回日本ロシア文学会大賞推薦募集の開始と締切及び申込状況について報告された。

審議事項

1. 2019 年度第 69 回大会、大会組織委員会の総括が、中村唯史委員長から資料に基づいて行われ、これが承認された。また大会報告者の学会誌への投稿を推奨することが定められた。
2. 2019 年度第 69 回大会、大会実行委員会の総括／会計報告が、坂庭淳史委員長から資料に基づいて行われ、これが承認された。また坂庭委員長より、国際参加枠のアテンド学生（開催校）の確保、学生謝金の見直し、名札の新調等の問題が提起され、次回大会実行委員会で検討することが定められた。
3. 寄附金について、事務局（庶務会計）野中進から、学会 HP「学会のご案内」ページに掲載する文面の提案が資料に基づいて行われ、これが承認された。
4. 若手ワークショップについて、三谷恵子会長から、趣旨・規程・募集要項・申請用紙の提案が資料に基づいて行われ、これが承認された。また今後は毎年度実施する予定であることが定められた。
5. 2020 年度第 70 回大会について
○2020 年度大会組織委員会員澤哉委員長から、組織委員会・実行委員会合同委員会が 2020 年 4 月 25 日に予定されていることについて報告された。
○2020 年度大会実行委員会ヨコタ村上孝之委員長から、プレシンポジウムの企画及びプレシンポジウム・大会の日程・会場について提案が行われ、実行委員会で検討することが定められた。日程・会場については実行委員会から提案後、理事会でメール稟議することが定められた。
6. その他
①三谷恵子会長から、東京大学スラヴ語スラヴ文学研究室・日本スラヴ学研究会・ロシア文学会の共催で 2020 年 6 月末に合同シンポジウムを開催する提案が行われ、社会連携委員会で対応を検討することが定められた。
②中村唯史副会長から、修士課程の学生を対象とする学生会員の設定について提案が行われた。会費、学会発表や（被）選挙権・投票権を認めるか等を含め、各支部で協議し次回理事会で検討することが定められた。

7月・10月開催の理事会の議事録が異議なく確定された。次回の理事会は7月19日、会場は東京大学本郷キャンパスを予定している旨、三谷恵子会長から連絡があった。

4. 会員異動（敬称略：2019年1-12月）

ご逝去 加藤栄一様、相馬守胤様

入会者（敬称略） 有田耕平（関西）、井伊裕子（関東）、上村正之（北海道）、柿添琳子（関東）、梶彩子（関東）、福井祐生（関東）、プロホロワ・マリア（関東）、ポリソワ・アンナ（関西）、松原繁生（関西）

退会者（敬称略） 伊藤美和子、イワノワ（イブラギモワ）エレーナ、内田健介、大谷幸太郎、尾子洋一郎、垣内智夫、狩野亨、キリーロワ・エレーナ、工藤正廣、小出雅樹、近藤昌夫、佐伯郁智、佐々木精治、田辺佐保子、トマルキン・ピョートル、夏目智徳、堀江新二、松原広志、宮崎武俊、堀江新二、大学書林

5. 新役員・委員（敬称略）

会長	三谷恵子（2017年度全国大会～2021年度全国大会）
副会長	貝澤哉、中村唯史（2019年度全国大会～2021年度全国大会）
事務局	野中進（2018年度全国大会～2020年度全国大会） 安達大輔（2018年度全国大会～2022年度全国大会）

理事（2019年度全国大会～2021年度全国大会）

北海道支部	宇佐見森吉（支部長）、高橋健一郎〔事務局長：大西郁夫〕
東北支部	長谷川章（支部長）〔事務局長：川辺博〕
関東支部	沼野恭子（支部長）、秋山真一、朝妻恵里子（事務局長）、大須賀史和、鴻野わか菜、寒河江光徳、高橋誠一郎、鳥山祐介、沼野充義、野中進、乗松亨平、宮澤淳一、村田真一、八木君人
中部支部	杉本一直（支部長・事務局長）、中澤敦夫
関西支部	中村唯史（支部長）、藤原潤子、横井幸子、ヨコタ村上孝之〔事務局長：服部文昭〕
西日本支部	西野常夫（支部長・事務局長）

顧問	佐藤純一、米川哲夫
監事	諫早勇一、木村崇
JCREES 幹事	三谷恵子

各種委員会（2019年度全国大会～2021年度全国大会：*は2019年度全国大会～2020年度全国大会）
末尾カッコ内は委員委嘱・選出規約

編集委員会	相沢直樹（委員長）、阿出川修嘉、大平陽一、大森雅子、高柳聡子、田中大、松本賢信、三好俊介
-------	--

学会賞選考委員会	ヨコタ村上孝之（委員長）、郡伸哉、中澤敦夫、八木君人、柳町裕子
国際交流委員会	楯岡求美（委員長）、北井聡子、グレチコ ワレーリー、越野剛、高橋健一郎、武田昭文
広報委員会	本田晃子（委員長）、岩本和久、梅津紀雄、梶山祐治、古賀義顕、寒河江光徳
社会連携委員会	坂庭淳史（委員長）、小川佐和子、北見諭、黒岩幸子、佐山豪太
倫理委員会	佐藤千登勢（委員長）、大西郁夫、岡本崇男、小椋彩、コベルニック ナディア
大賞選考委員会	服部文昭（委員長）、相沢直樹、貝澤哉、坂庭淳史、佐藤千登勢、楯岡求美、中村唯史、本田晃子、三谷恵子、ヨコタ村上孝之
2020 大会組織委員会*	貝澤哉（委員長）、坂庭淳史、楯岡求美、堤正典、ヨコタ村上孝之
2020 大会実行委員会*	ヨコタ村上孝之(委員長)、安達大輔、北井聡子、楯岡求美、中村唯史、横井幸子

6. その他

○日本ロシア文学会大賞受賞記念講演 第6回日本ロシア文学会大賞に佐藤昭裕氏が選出され、2019年10月26日、早稲田大学にて日本ロシア文学大賞記念講演「テキストを読む楽しみー『過ぎし年月の物語』と私ー」が行われました。この受賞記念講演は学会ホームページ及び『ロシア語ロシア文学研究』第52号に掲載予定です。学会ホームページには佐藤氏の授賞理由、受賞のことばも掲載されています。

7. 事務局からのアナウンス

○就職等に伴う支部会員の異動手続きが必ずしも円滑に行われていない現状が報告されています。支部を移る際には会員ご本人が全国の事務局までご連絡ください。その後の支部間の連絡や調整については事務局で手配いたします。各支部での周知の徹底をお願いいたします。

○学会はみなさまの会費によって支えられています。2019/2020年度分（およびそれ以前）の学会費を納入されていない方は、納入くださいますようお願い申し上げます。なお、振込用紙がお手元にない場合、郵便局に備え付けの振替用紙をお使いください（加入者：日本ロシア文学会、口座番号：00100-7-6507）。

会費督促についてのお知らせとお願い

事務局（庶務会計）からのお知らせとお願いです。本年2月末より会費の督促を行います。会費滞納のある方は、至急、お支払いくださいますようお願いいたします。振込用紙がお手元にない場合、郵便局に備え付けの振替用紙をお使いください（加入者：日本ロシア文学会、口座番号：00100-7-6507）。

なお、2019/2020年度にご送金いただいても、それ以前に滞納がある場合、ご送金分は以前の滞納に充てられますので、「2019/2020年度分、滞納」のかたちで督促が行きます。あらかじめご了承ください。

すべての学会活動は皆様のお納めいただく会費によって成り立っておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

○2020年度の大会は10月31日（土）、11月1日（日）に大阪大学で開催されます。

○学会ホームページでは、学会内外で行われるロシア語・ロシア文化全般に関する催しについての案内を積極的に掲載しておりますので、適時閲覧して頂ければ幸いです (<http://yaar.jpn.org/>)。

○現在、事務局から会員への連絡は、一部を除き一斉メールで行っております。まだ連絡用のメールアドレスを事務局にお届け頂いていない会員におかれましては、ご自身のメールアドレスと氏名を事務局にご送信下さい (yaar@yaar.jpn.org)。また、お知合いの会員でメールによる学会連絡のない方がいらっしゃいましたら、事務局あてにご一報くださるよう、お勧めください。

○『ロシア語ロシア文学研究』51号（2019年）がお手元に届いていない会員の方は、現在のご住所（郵送先）を事務局にお知らせください。また、お知合いの会員でそのような方がいらっしゃいましたら、事務局あてにご一報くださるよう、お勧めください。

日本ロシア文学会会報 第49号（2020年2月15日発行）

発行人 三谷恵子 編集人 日本ロシア文学会事務局

〔書記〕〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 安達大輔研究室内

〔庶務会計〕〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学人文社会科学部研究科 野中進研究室内

E-mail : yaar@yaar.jpn.org（共通）